

# 2025年3月期 個人株主様向け 会社説明会

配信期間：2025年2月12日～2月19日



本資料の如何なる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負うものではありません。

# 会社概要

会社名

太陽ホールディングス株式会社

設立

1953年9月29日

本社

東京都豊島区西池袋一丁目11番1号  
メトロポリタンプラザビル16階

従業員数

連結 2,210名 / 単体 156名 (24年3月末)

業績

売上高 104,775百万円 (24年3月期)  
営業利益 18,203百万円 (24年3月期)

事業

- ・エレクトロニクス事業
- ・医療・医薬品事業、
- ・ICT&S事業 (ICT事業、ファインケミカル事業、エネルギー事業及び食糧事業等)

株式上場

2001年1月 証券コード 4626 プライム市場



# 当社の特長

## 世界シェア No.1 の化学メーカー

プリント基板や半導体パッケージに欠かせない  
ソルダーレジストでシェア約 **6** 割

## 半導体パッケージ用製品で高収益

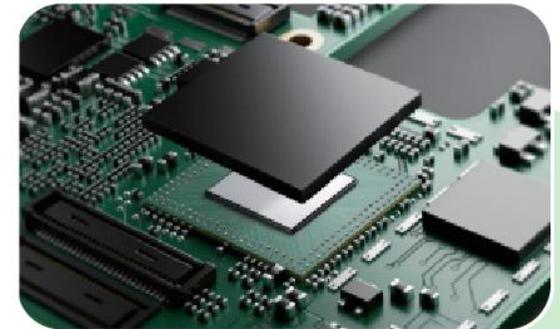
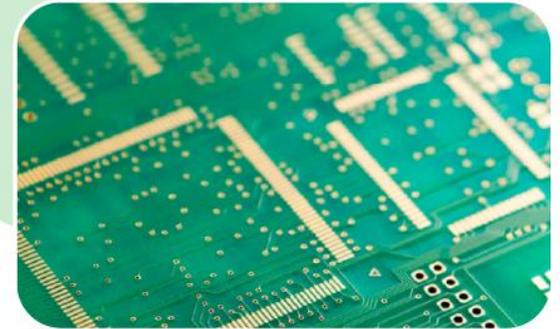
半導体パッケージ向け製品が事業成長に大きく寄与  
半導体関連業種として「日経半導体株指数」構成銘柄に選定

## ニッチトップから医薬事業への展開

電子機器だけでなく医薬事業に参入し第二の柱へ成長

## 高配当（株主資本配当率 DOE：5% 以上維持）

過去 5 年平均配当性向 **55%**



# 当社グループの事業セグメント

## エレクトロニクス事業（エレキ事業）

プリント基板(PCB)用部材を始めとする電子部品用  
化学品部材の開発・製造販売及び仕入販売



## 医療・医薬品事業（医薬事業）

医療用医薬品の製造販売・製造受託、  
歯科技工物の製造販売



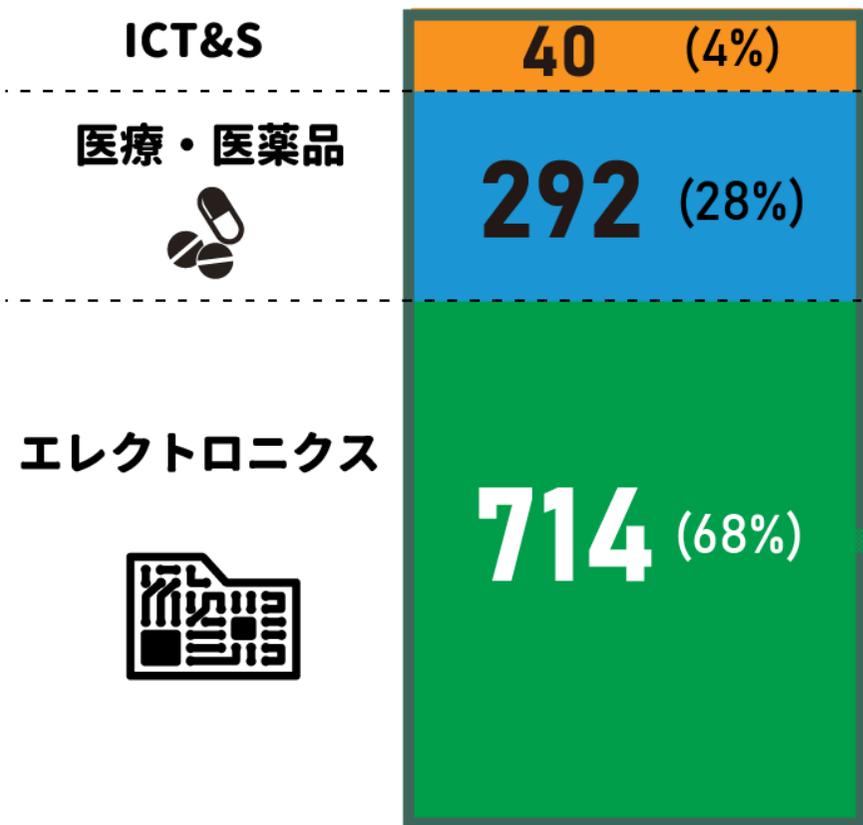
## ICT&S 事業

ICT 事業、ファインケミカル事業、エネルギー事業  
及び食糧事業等



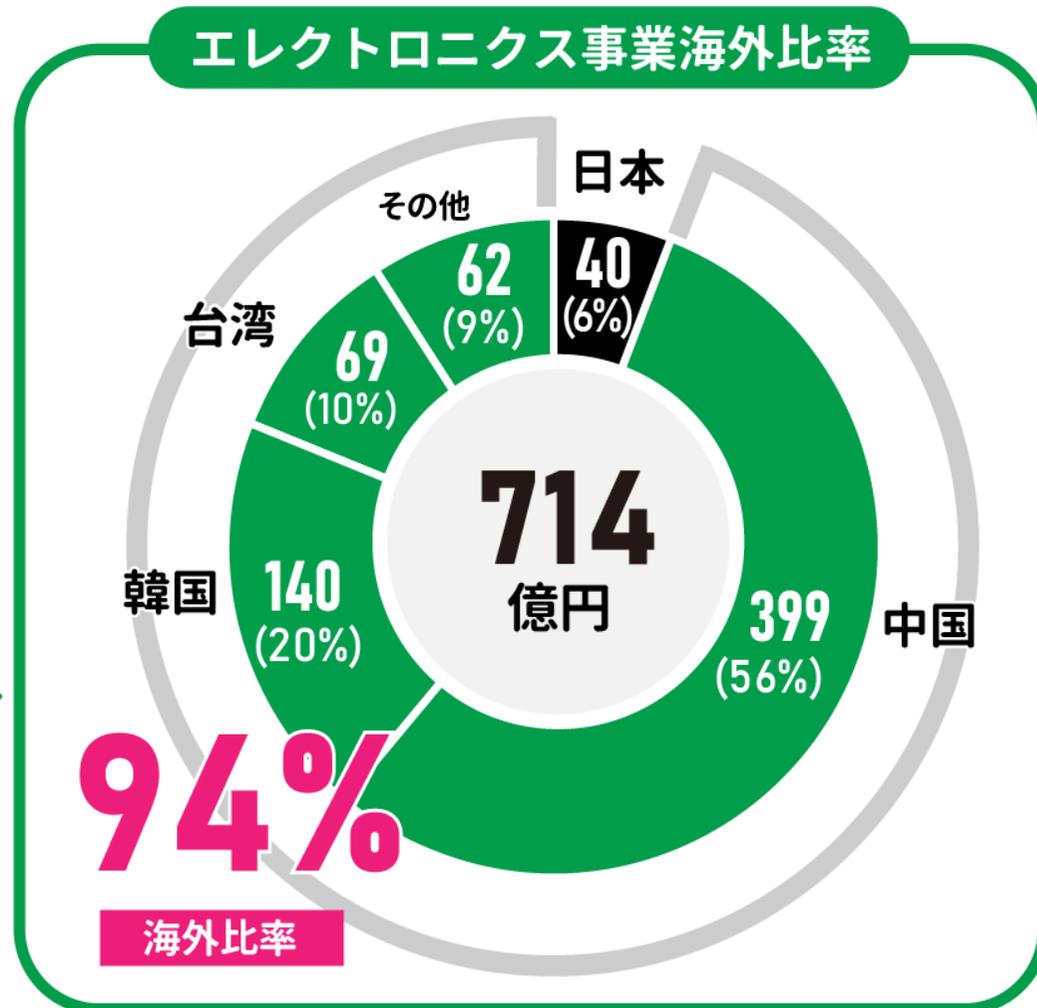
# 2024年3月期 全社売上構成

1,047 億円



2024年3月期

## エレクトロニクス事業海外比率



# グループ拠点一覧

黒字：太陽ホールディングス グループ拠点  
 緑字：エレクトロニクス事業 製造販売拠点  
 青字：エレクトロニクス事業 営業販売拠点



## Beyond Imagination 2030

想像を超える未来へ

### 基本方針

- 1 多様化する組織や社会に対応する自律型人材の育成・活用
- 2 エレクトロニクス事業の継続した成長と新規事業領域の創造
- 3 医療・医薬品事業の更なる成長
- 4 デジタルトランスフォーメーションによる進化と変革
- 5 新たな事業の創出
- 6 戦略的な M&A
- 7 SDGs( 持続可能な開発目標 ) への取り組み強化

ROE

(自己資本利益率)

18%

DOE

(株主資本配当率)

5%  
以上維持

# 各種構成銘柄への選定

「JPX 日経インデックス 400」「日経半導体株指数」の構成銘柄に選定されています。\*

## JPX 日経インデックス 400

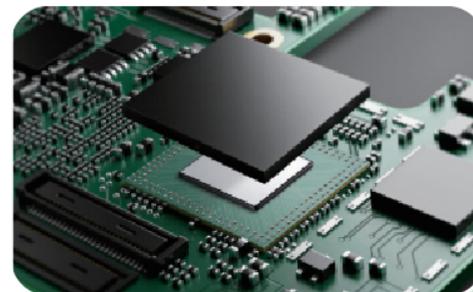


### 概要

対象銘柄	東京証券取引所上場銘柄
選定基準	【定量指標】 時価総額、直近3年間の株式売買金額、 3年平均ROE、3年累積営業利益 等  【定性指標】 女性役員の選任、決算情報の英文資料 開示 等
選定期期	年1回定期見直し 8月末に銘柄入れ替え

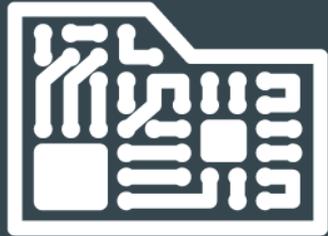
\* 2025年2月5日現在

## 日経半導体株指数



### 概要

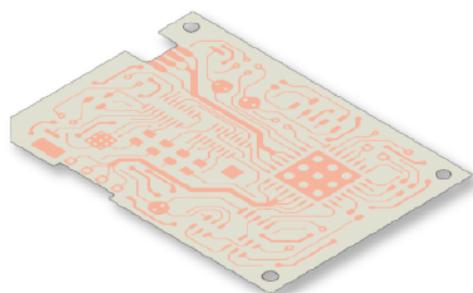
対象銘柄	東京証券取引所上場銘柄
選定基準	日経 NEEDS 業種分類で半導体関連業種に属する銘柄のうち、時価総額が大きい30銘柄
選定期期	年1回定期見直し 11月末に銘柄入れ替え



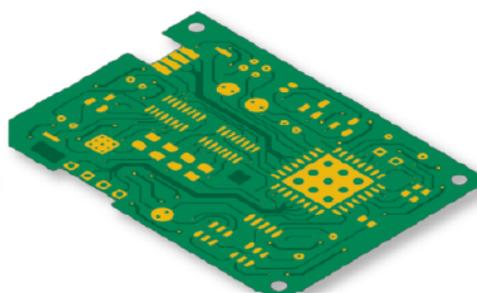
# エレクトロニクス事業

# ソルダーレジストとは？

ソルダーレジストは、さまざまな電子部品を搭載したプリント基板の表面を覆い、回路パターンを保護する絶縁膜となるインキです。



ソルダーレジスト塗布前



ソルダーレジスト塗布後



部品実装後

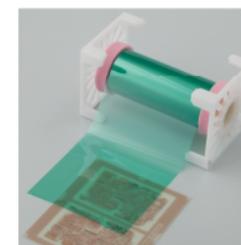
## ソルダーレジストの主な役割

- 不要部分へのはんだの付着防止
- ほこり、熱、湿気などから回路パターンを保護
- 回路パターン間の電気絶縁性の維持

## 製品の性状



液状製品



ドライフィルム製品

# 私たちの貢献

エレキ事業

あらゆるエレクトロニクス製品に利用されるプリント基板に欠かせない  
ソルダーレジストを通じ、エレクトロニクスの発展に寄与しています。

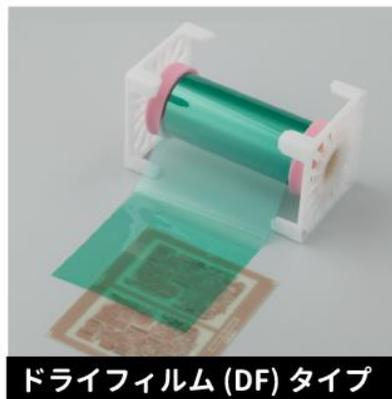
自動車  
(電気自動車含む)



家電・AV 機器



医療機器



パソコン



スマートフォン  
・タブレット



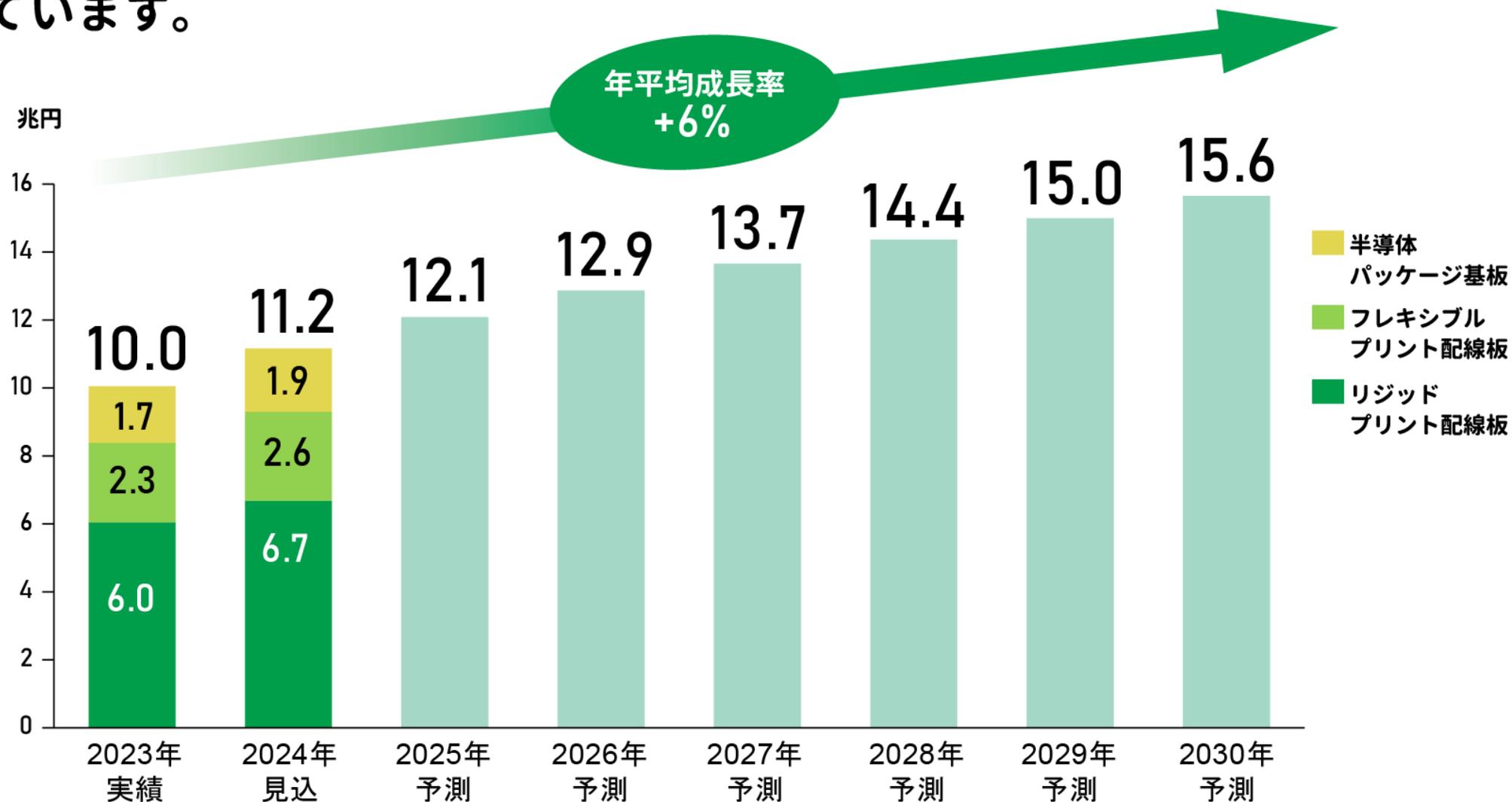
データセンター



# プリント基板市場規模推移・予測

エレキ事業

プリント基板市場は、今後6年間において年平均6%の成長が見込まれています。

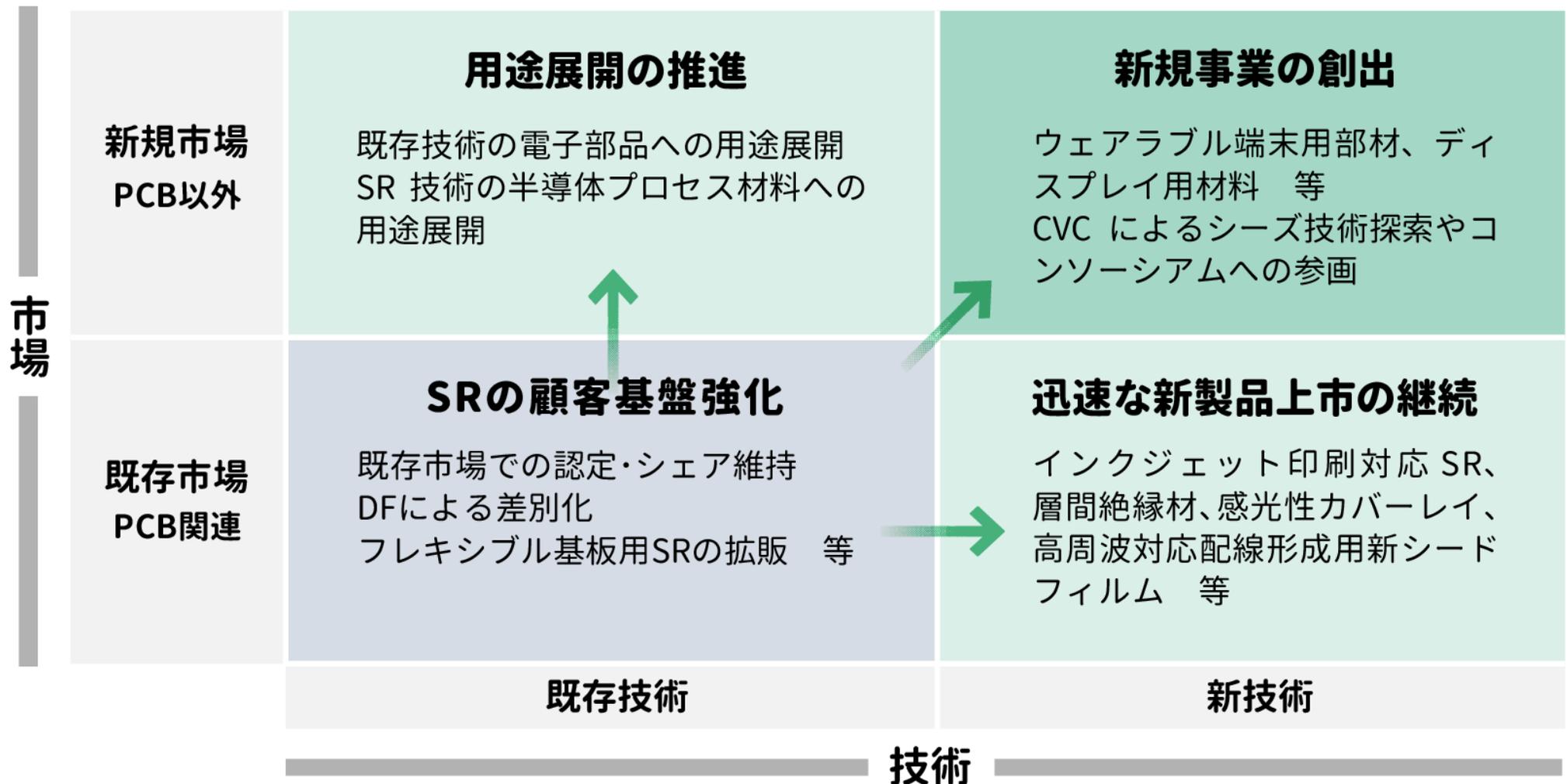


出典：「2024 エレクトロニクス実装ニューマテリアル便覧」, 富士キメラ総研, 2024年11月

# エレクトロニクス事業の成長戦略

エレキ事業

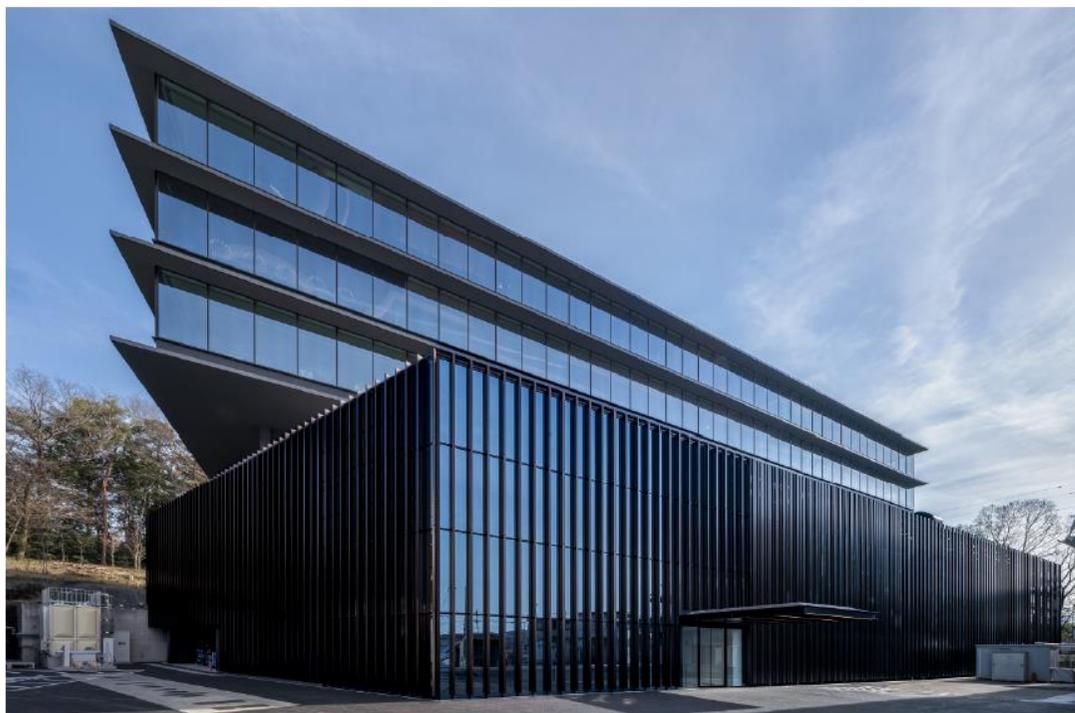
ソルダーレジスト (SR) の市場を拡大し、新製品・新規事業を立ち上げることで、事業の持続的な成長を目指します。



# 新技術開発センター「InnoValley」竣工

エレキ事業

太陽インキ製造は、2024年4月に技術開発センター「InnoValley」を竣工しました。開発部門の社員を中心に設計段階から関与し、従業員のポテンシャルを最大限に引き出す施設としてエレクトロニクス事業の成長をけん引します。



【所在地】 嵐山事業所敷地内(埼玉県)

【面積】 敷地約 1.6 万 m<sup>2</sup>、建床約 1.0 万 m<sup>2</sup>

【階数】 地上 6 階

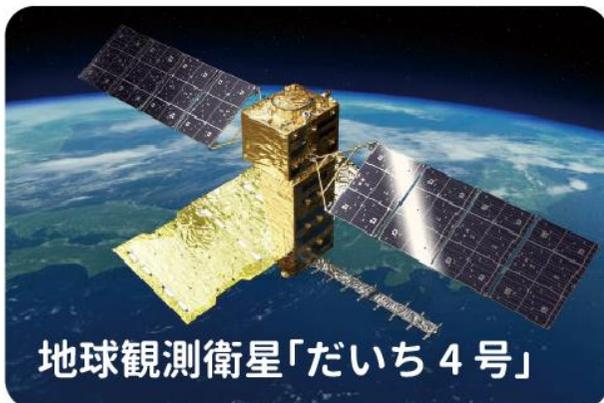
# 宇宙・衛星通信分野への貢献と成長機会

JAXA H3 ロケットや人工衛星、衛星通信用受信アンテナなどに搭載されるプリント基板には当社製品が使用され、宇宙ネットワークの構築に貢献しています。

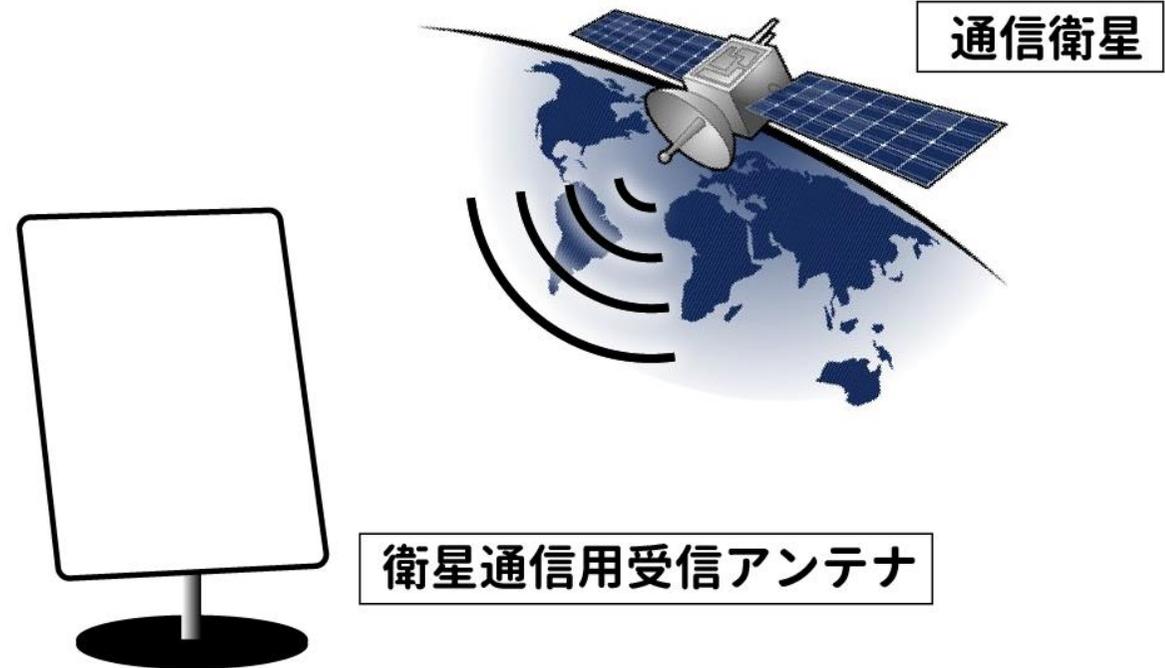
## 衛星通信ネットワーク



JAXA | H3ロケット (c)JAXA



JAXA | 先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4) (c)JAXA



非地上ネットワークデバイスの開発や地上ネットワークデバイスの増設が見込まれ、当社製品採用の好機になります。

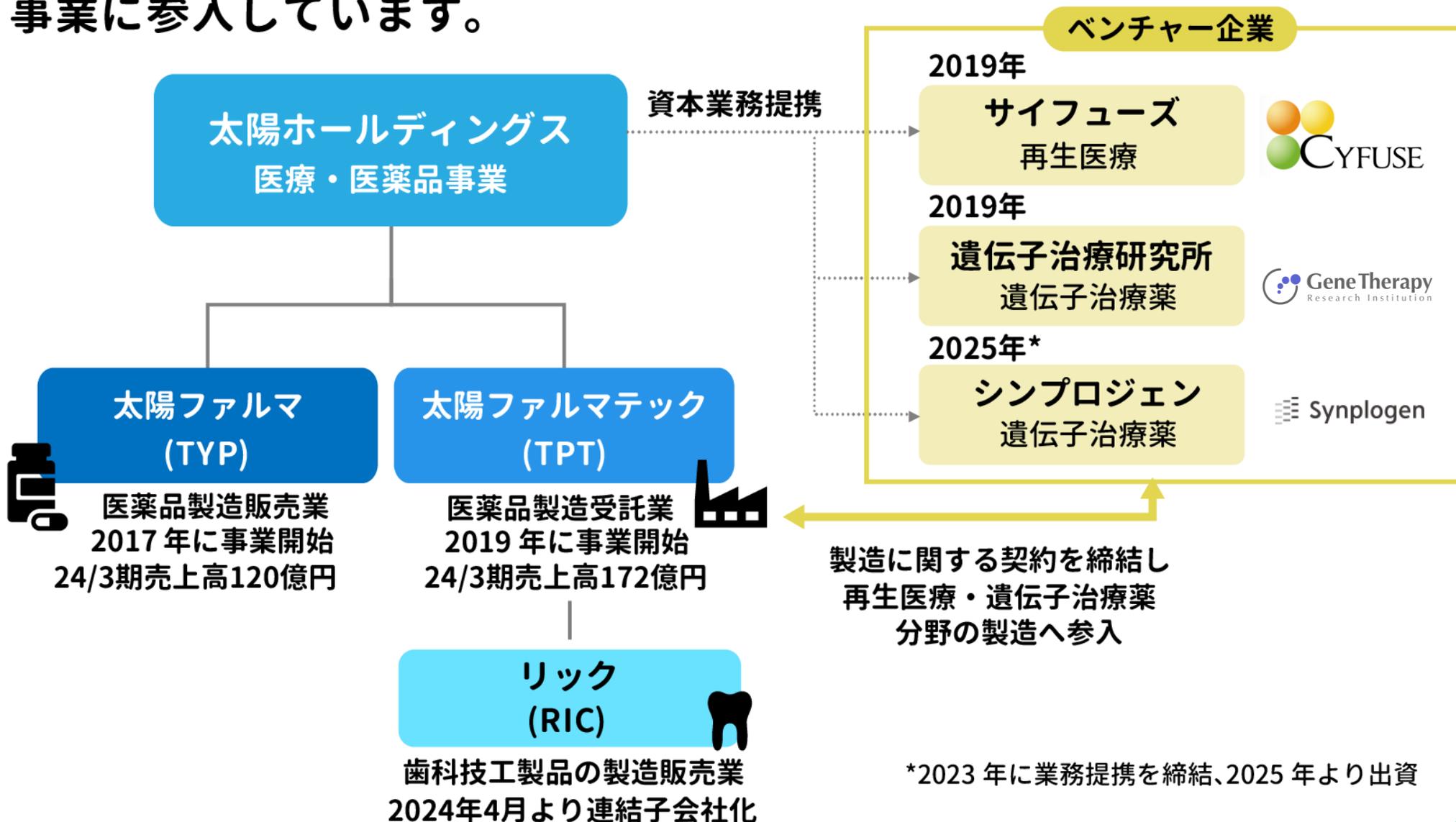


# 医療・医薬品事業

# 医療・医薬品事業の全体像

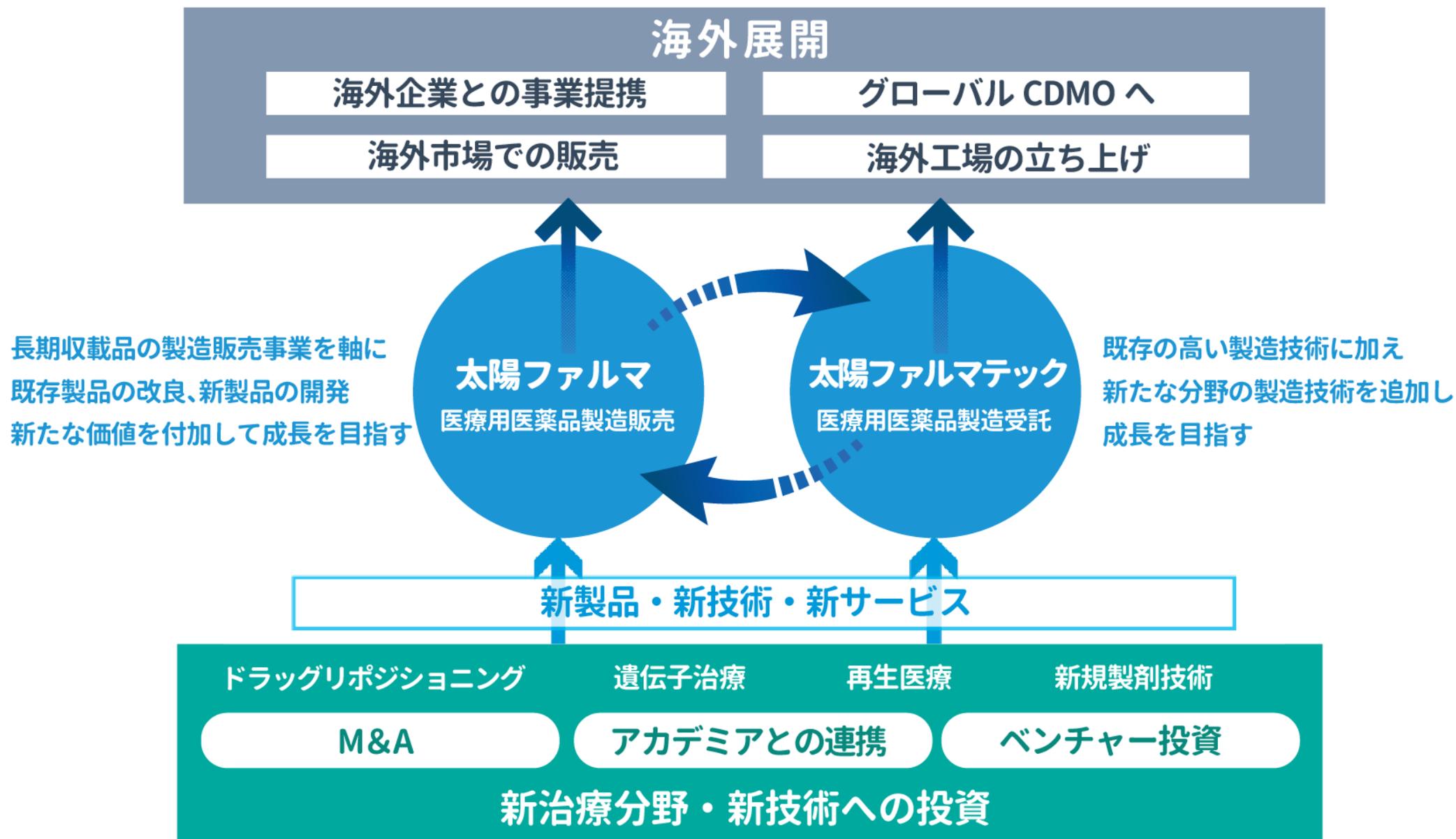
医薬事業

2017年よりエレクトロニクス事業に次ぐ第2の柱として、医療・医薬品事業に参入しています。



# 医療・医薬品事業の成長戦略

医薬事業



# リックを連結子会社化

医薬事業

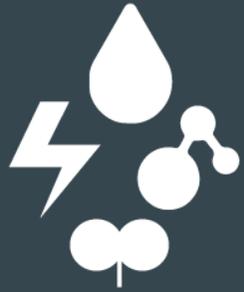
2022年3月より当社子会社であったリックを当第1四半期より連結子会社化しました。最先端の技工を可能にするデジタル技術と技術者の技の融合に加え、当社グループの強みを活かし、幅広いラインナップでよりよい歯科医療の実現を目指します。

## **Ricc** 株式会社リックの概要

所在地	大阪市北区 大阪市東淀川区 東京都港区
設立	平成9年2月7日
代表者	代表取締役社長 有馬 聖夫 代表取締役副社長 井上 貴文
従業員数	131名（2024年6月末現在）
事業内容	歯科技工製品の製造、販売



リックコーポレートサイト：<https://www.ricc-web.co.jp/>



# ICT&S 事業

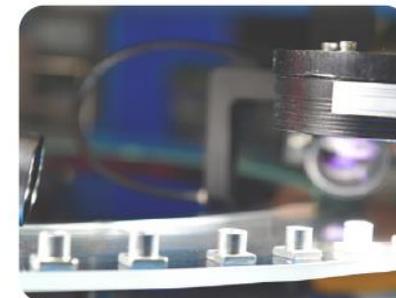
## 太陽ファインケミカル

機能性材料の受託合成・共同開発



## funlead

DX 推進ソリューション等 ICT 事業



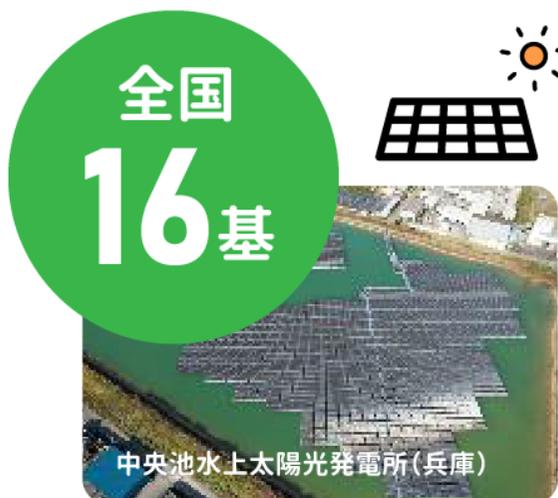
## 太陽グリーンエナジー

- ・食糧事業：植物工場や飼料用 / 食用コオロギの養殖など
- ・エネルギー事業：水上太陽光発電所の運営



# 水上太陽光発電事業の推進

当社では計 16 基の水上太陽光発電施設の開設により、年間想定発電量は約 27.3 GWh となり、国内エレクトロニクス事業及び国内医薬品事業に係る外部購入電力消費量相当の再生可能エネルギーを生み出しています。



## Apple サプライヤークリーン エネルギープログラムへの参加

当社グループの太陽インキ製造は 2018 年に日本企業で 2 社目の Apple クリーンエネルギーサプライヤーに認定されました。



[https://www.apple.com/environment/pdf/Apple\\_Environmental\\_Progress\\_Report\\_2024.pdf](https://www.apple.com/environment/pdf/Apple_Environmental_Progress_Report_2024.pdf)

# 連結業績について

# 2025年3月期 これまでのトピックス

## エレクトロニクス事業

- 売上高は、累計YoYで18%増加 QoQで5%減少  
〈累計YoYに関する要因〉
  - 円安に推移したことにより業績にプラスの影響  
期中平均為替レート：当期1米ドル152.9円、前年同期1米ドル142.8円
  - リジッド：車載関連、スマートフォン関連部材の販売数量が増加  
ディスプレイ関連部材（白色DF）の販売数量が増加
  - PKG：上半期が低調であった前年同期と比較し販売数量増加  
〈QoQに関する要因〉
    - PKG：メモリ向け製品を中心に販売数量減少
    - リジッド：ディスプレイ関連部材（白色DF）の販売数量が減少  
スマートフォン関連部材が販売数量減少

## 医薬事業

- 売上高は、累計YoYで11%増加 QoQで39%増加  
〈累計YoYに関する要因〉
  - リックの連結子会社化による増加
  - 製造受託事業における、製造委託元からの要請による受託数量の増加
  - 製造販売業における、他社同効薬の供給不足による需要増加、鎮咳去痰薬への需要増加
  - アルツハイマー型認知症治療剤「レミニール<sup>®</sup>」の製造販売承認の承継による増加  
〈QoQに関する要因〉
    - 製造受託事業におけるプロダクトミックスの変化による増加

## 全社

- 2025年3月期の通期業績予想修正
- eスポーツ大会「ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2024」協賛
- 永原悠路選手との所属契約を更新

# 2025年3月期第3四半期 連結業績

	①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③
単位：百万円	2024年3月期 3Q累計 実績	2025年3月期 3Q累計 実績	前年 同期比	増減率	2025年3月期 通期 業績予想 (11月6日発表)	進捗率
売上高	78,040	90,682	12,642	16%	117,700	77%
営業利益	14,256	18,020	3,763	26%	21,700	83%
経常利益	13,771	17,746	3,974	29%	21,100	84%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,196	12,965	2,768	27%	14,500	89%
円・USDレート	142.8	152.9	10.1		*	
EBITDA	20,871	24,969	4,098	20%	31,200	80%
営業利益率	18%	20%			18%	
EBITDA マージン	27%	28%			27%	

\* 円・USDレート：2025年3月期上半期 実績 152.3円、2025年3月期下半期 期初業績予想据え置き 145.0円

# 2025年3月期第3四半期 セグメント別業績

		①	②	②-①	(②-①)÷①	③	②÷③
単位：百万円		2024年3月期 3Q累計 実績	2025年3月期 3Q累計 実績	前年 同期比	増減率	2025年3月期 通期 業績予想 (11月6日発表)	進捗率
エレキ 事業	売上高	53,329	62,672	9,342	18%	80,300	78%
	営業利益	12,359	16,981	4,622	37%	20,800	82%
	営業利益率	23%	27%			26%	
	EBITDA	14,378	19,684	5,306	37%	24,400	81%
	EBITDAマージン	27%	31%			30%	
医薬 事業	売上高	22,098	24,575	2,476	11%	32,500	76%
	営業利益	2,877	2,046	△831	△29%	2,200	93%
	営業利益率	13%	8%			7%	
	EBITDA	6,832	5,595	△1,237	△18%	7,300	77%
	EBITDAマージン	31%	23%			22%	
ICT&S 事業	売上高	2,612	3,435	823	32%	-	-
	営業利益	47	161	114	241%	-	-
	営業利益率	2%	5%			-	-
全社費用	営業損益	△1,027	△1,169	△142		-	-

# 2025年3月期通期業績予想修正

- エレキ事業において2024年11月6日開示の業績予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想を修正しました。
- 2024年11月6日に開示した業績予想から、エレキ事業の第3四半期の業績予想を実績値に更新し連結業績予想を修正しました(第4四半期は据え置き)。

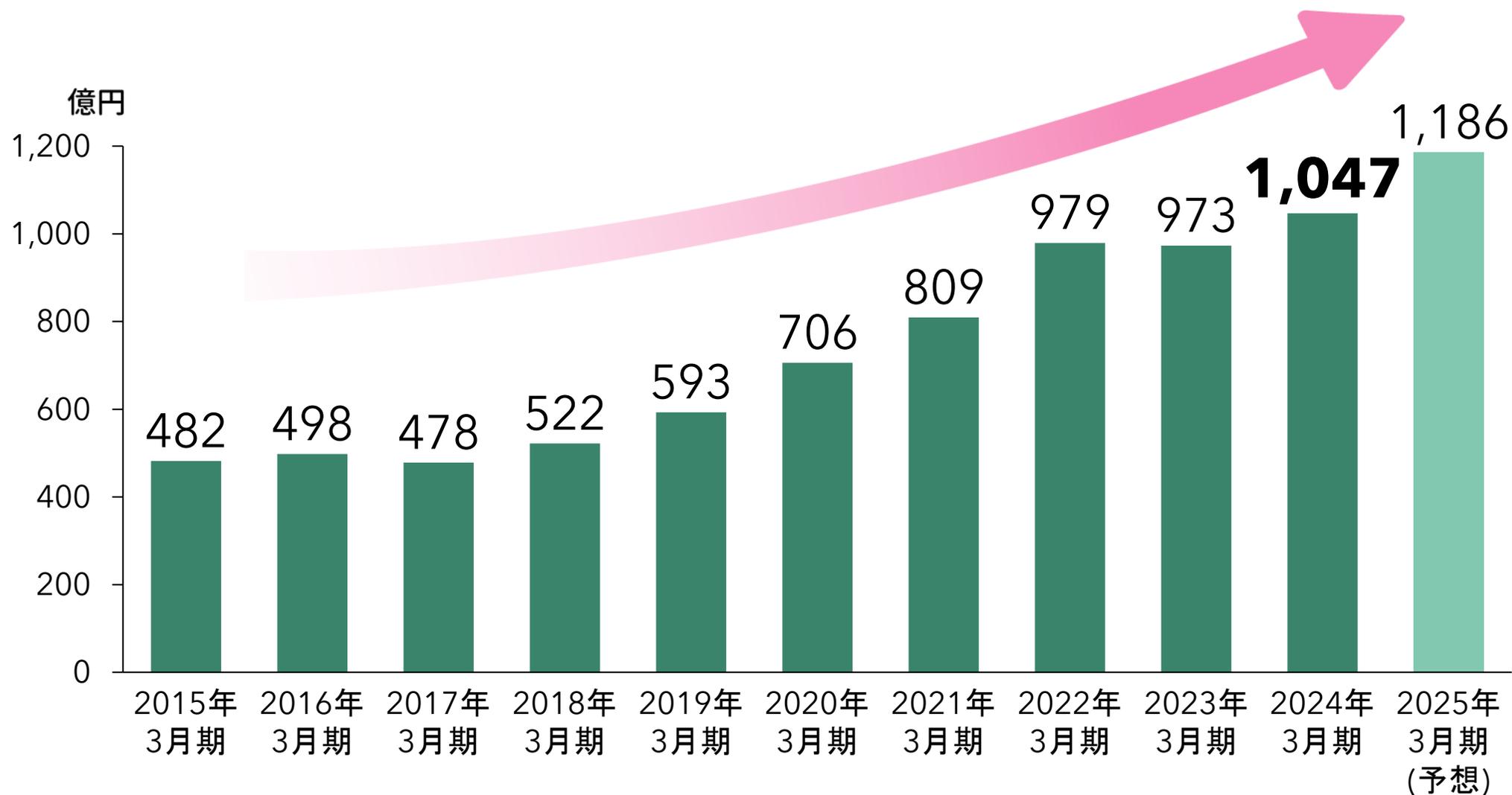
単位：百万円		2025年3月期 通期業績予想 (11月6日発表) <sup>*1</sup>		2025年3月期 通期業績予想 (2月5日発表) <sup>*2</sup>		増減比	
		金額	利益率	金額	利益率	金額	率
連結	売上高	<b>117,700</b>		<b>118,600</b>		<b>+900</b>	+1%
	営業利益	<b>21,700</b>	<b>18%</b>	<b>22,300</b>	<b>19%</b>	<b>+600</b>	+3%
	経常利益	21,100	18%	21,700	18%	<b>+600</b>	+3%
	親会社株主に帰属する当期純利益	14,500	12%	14,900	13%	<b>+400</b>	+3%
	EBITDA	<b>31,200</b>	<b>27%</b>	<b>31,800</b>	<b>27%</b>	<b>+600</b>	+2%
エレキ 事業	売上高	<b>80,300</b>		<b>81,200</b>		<b>+900</b>	+1%
	営業利益	<b>20,800</b>	<b>26%</b>	<b>21,400</b>	<b>26%</b>	<b>+600</b>	+3%
	EBITDA	<b>24,400</b>	<b>30%</b>	<b>25,000</b>	<b>31%</b>	<b>+600</b>	+2%
医薬 事業	売上高	<b>32,500</b>		<b>32,500</b>		-	-
	営業利益	<b>2,200</b>	<b>7%</b>	<b>2,200</b>	<b>7%</b>	-	-
	EBITDA	<b>7,300</b>	<b>22%</b>	<b>7,300</b>	<b>22%</b>	-	-

\*1 円・USDレート：2025年3月期上半期 実績 152.3円、2025年3月期下半期 期初業績予想据え置き 145.0円

\*2 円・USDレート：2025年3月期第1四半期～第3四半期 実績 152.9円

2025年3月期第4四半期 期初業績予想据え置き 145.0円

# 連結売上高推移



為替レート  
(円/米ドル)

110

120

109

111

111

109

106

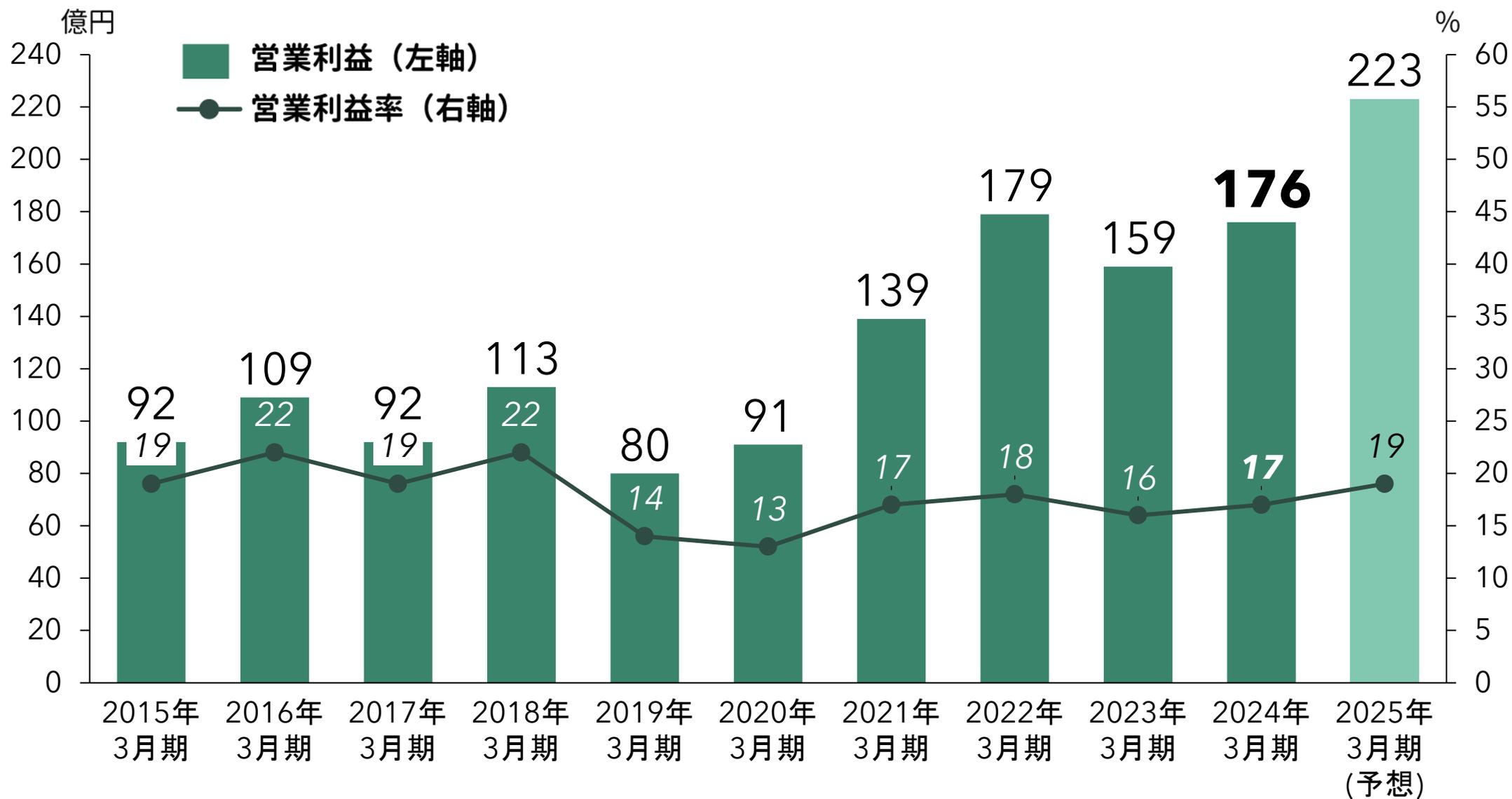
113

135

145

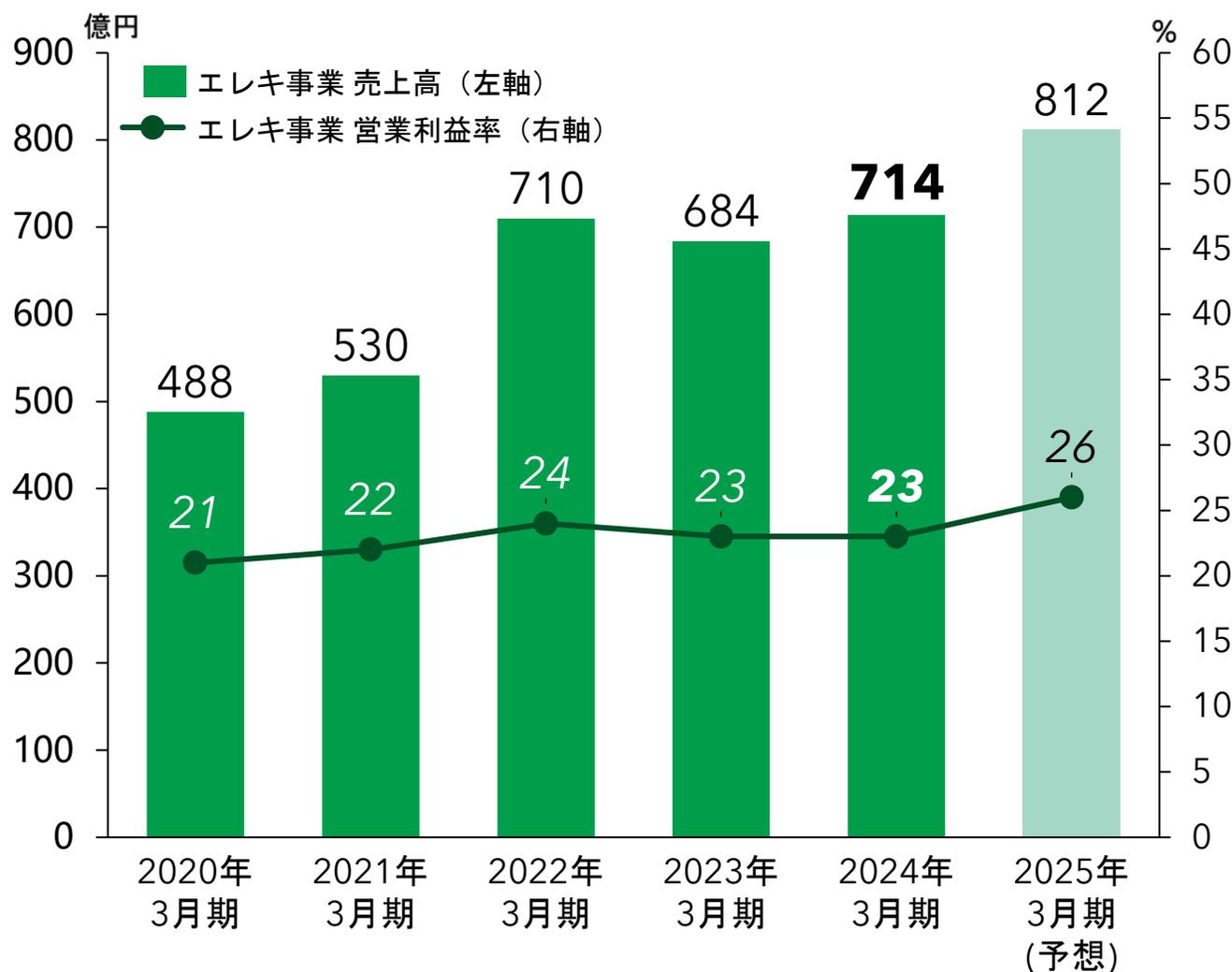
1-3Q 153  
4Q 145

# 連結営業利益推移

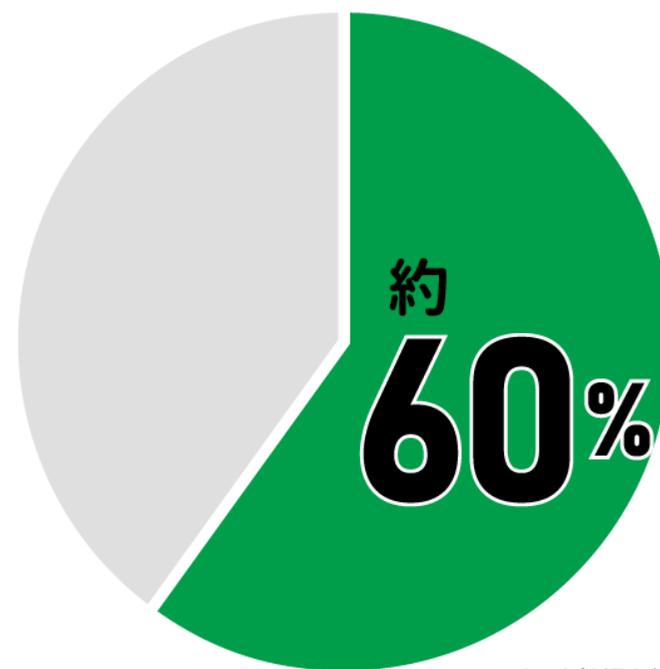


# エレクトロニクス事業 売上高・営業利益率推移

エレクトロニクス事業は、主力製品のソルダーレジストの市場において世界シェア約60%を有し、高い売上高成長、営業利益率を誇ります。

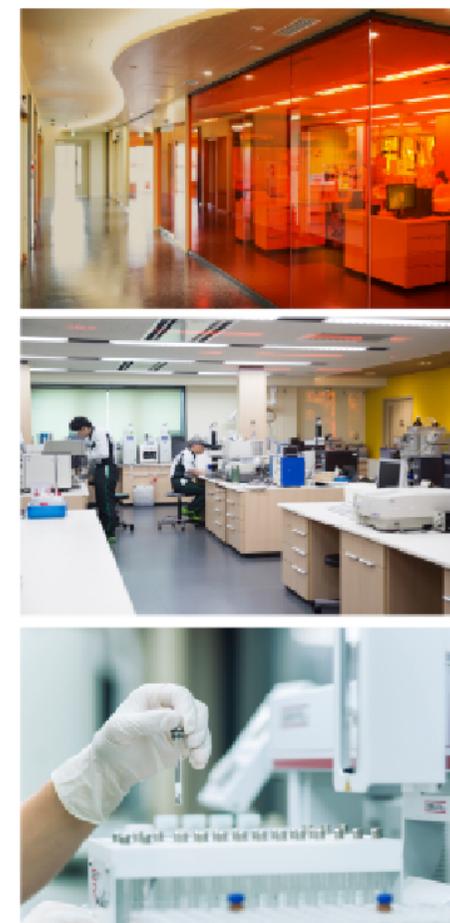
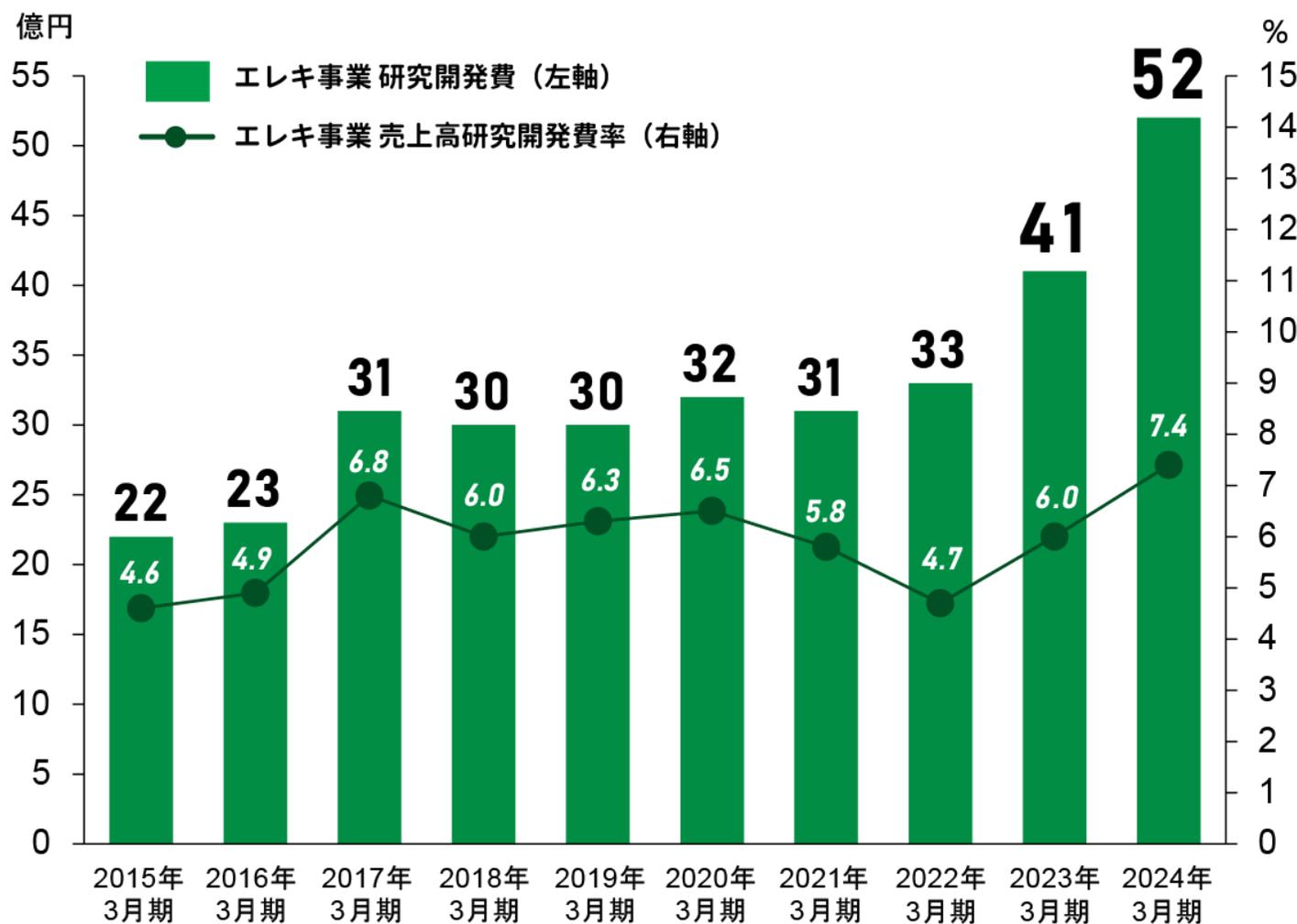


## ソルダーレジスト 世界シェア<sup>\*1</sup>



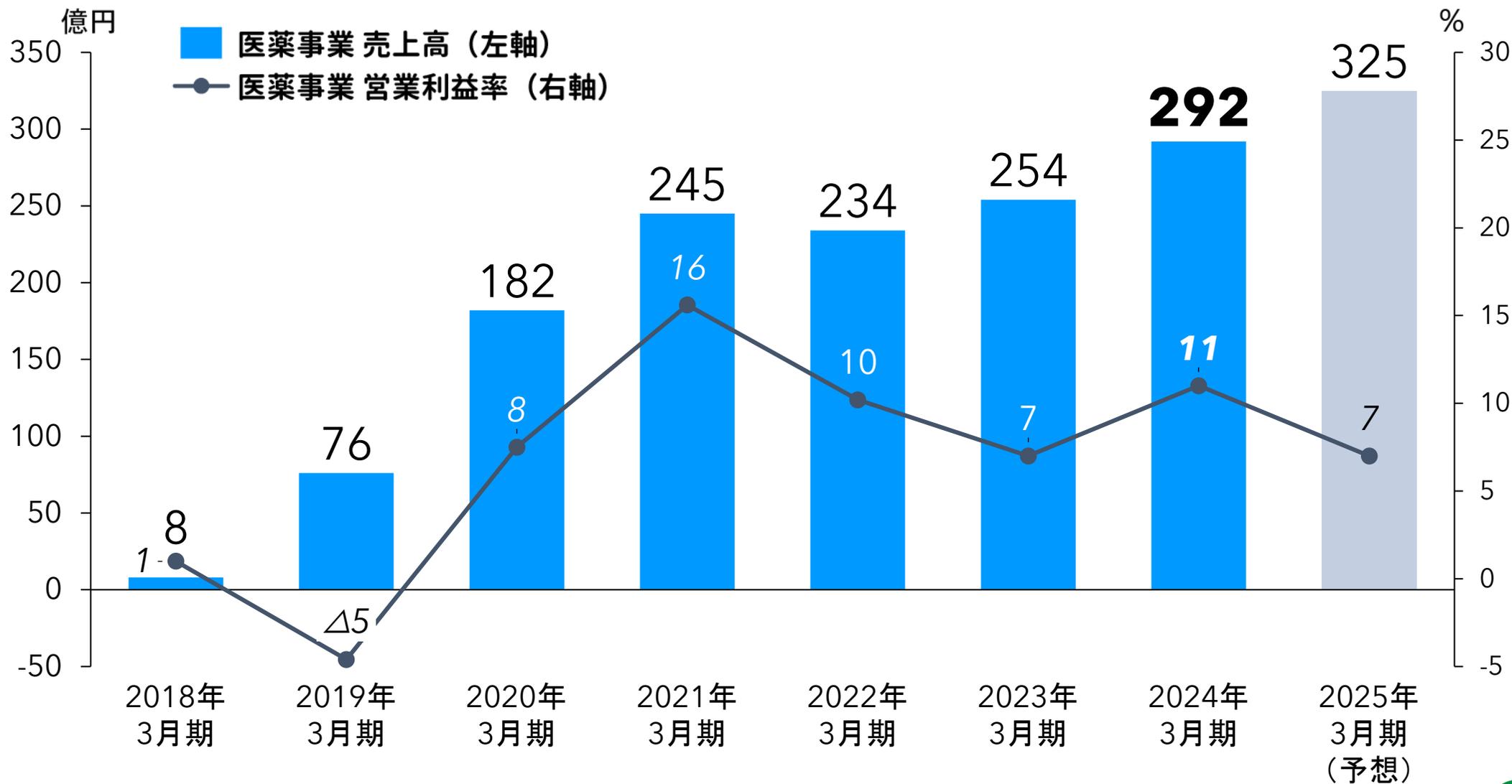
# エレクトロニクス事業 研究開発費

当社では、エレクトロニクス事業において売上高の5%程度を研究開発費としています。



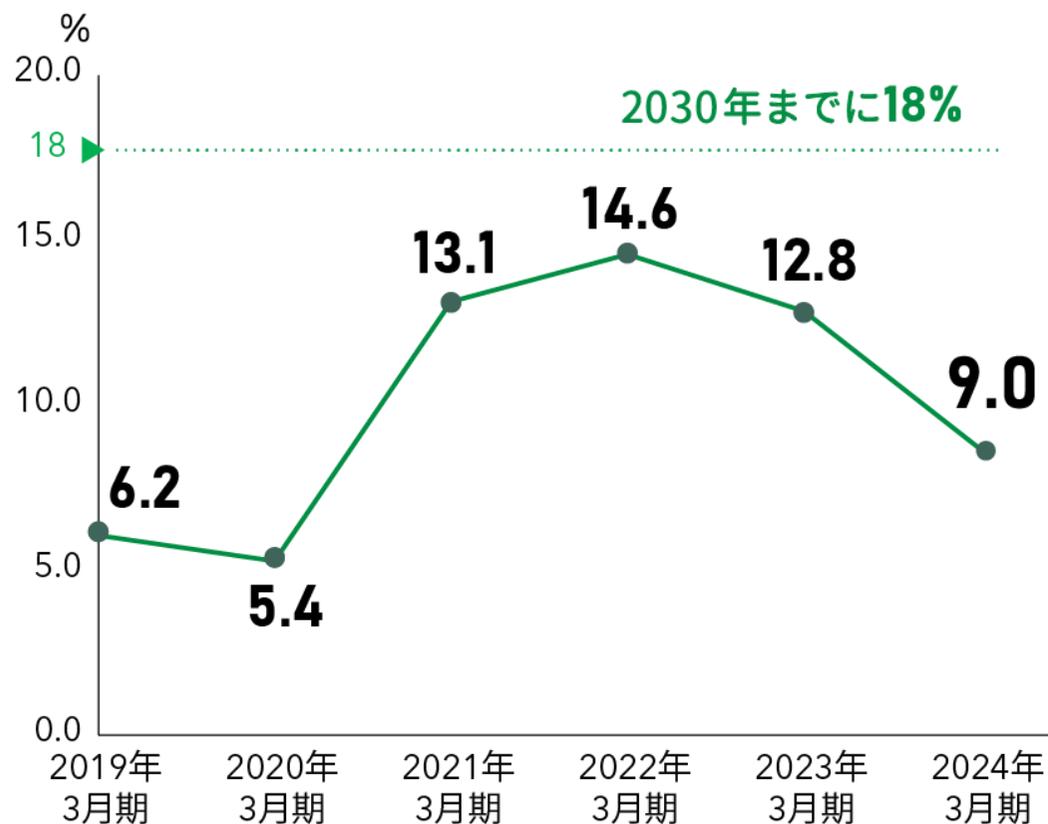
# 医療・医薬品事業 売上高・営業利益率推移

医療・医薬品事業は、参入した2018年3月期より成長を続けています。

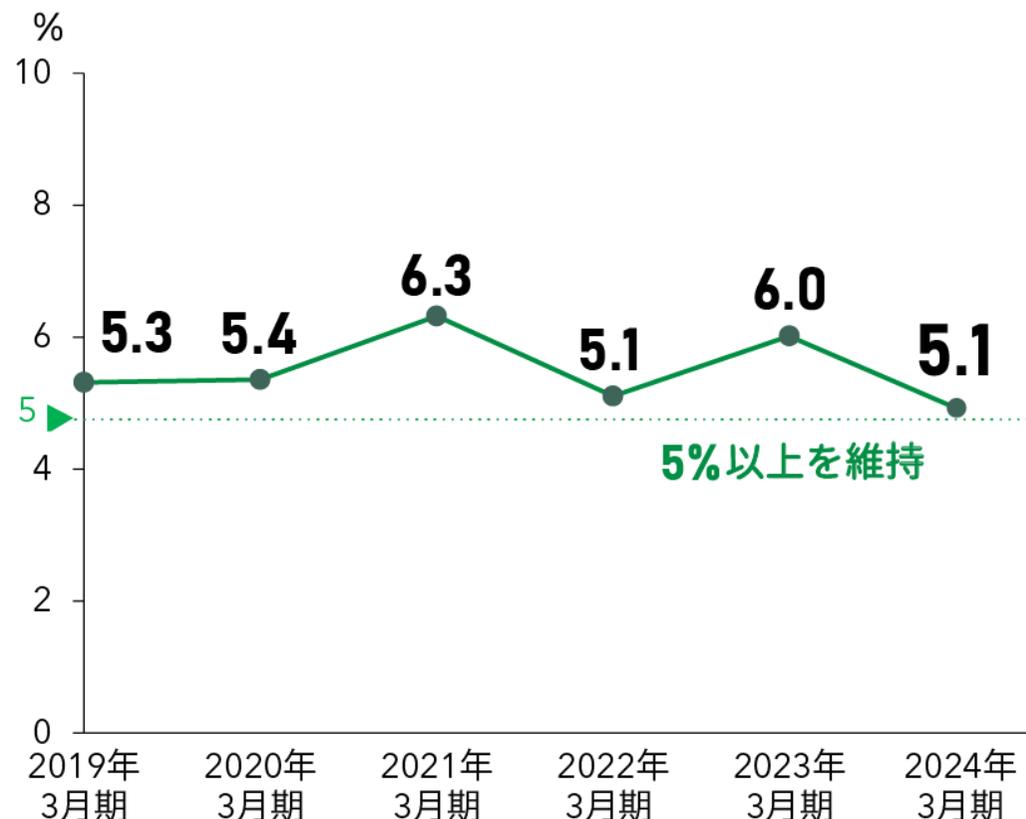


# 連結 ROE・DOE 推移

## ROE（自己資本利益率）\*



## DOE（株主資本配当率）\*



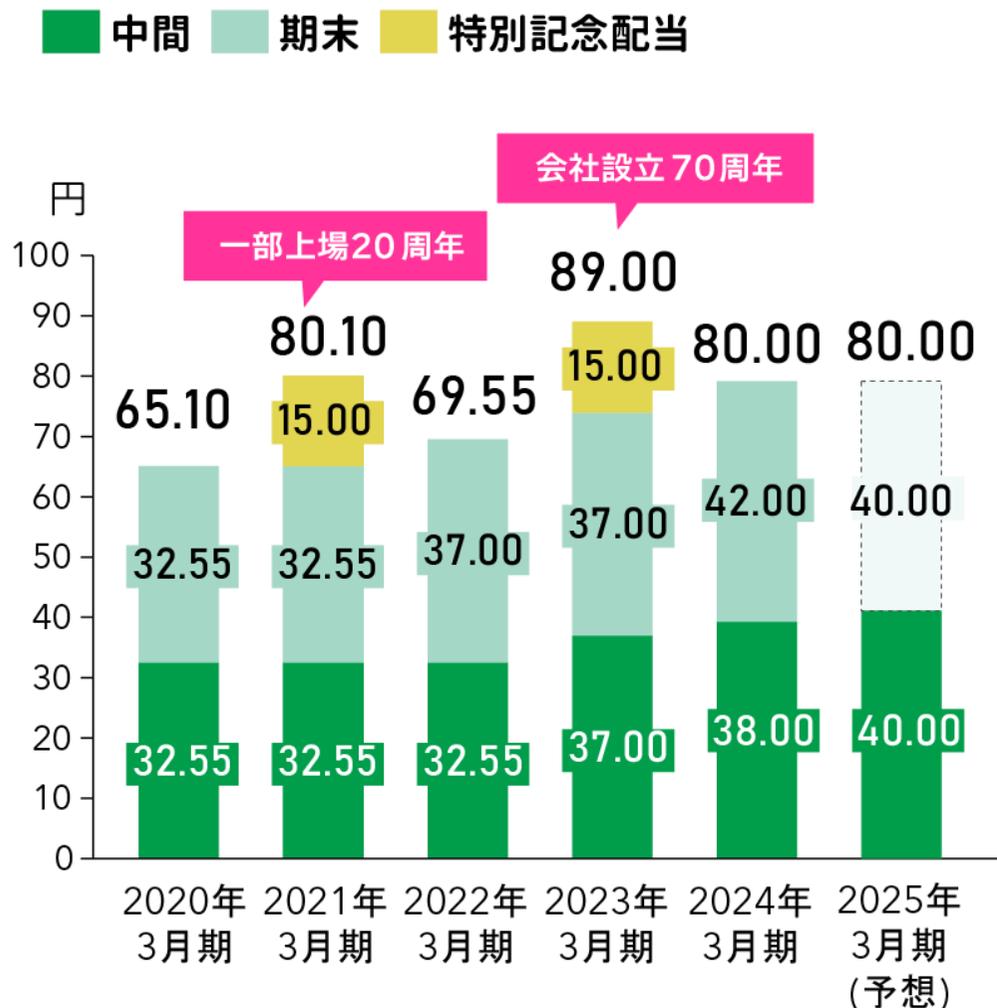
..... 長期経営構目標値

\* ROE：親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本の期中平均

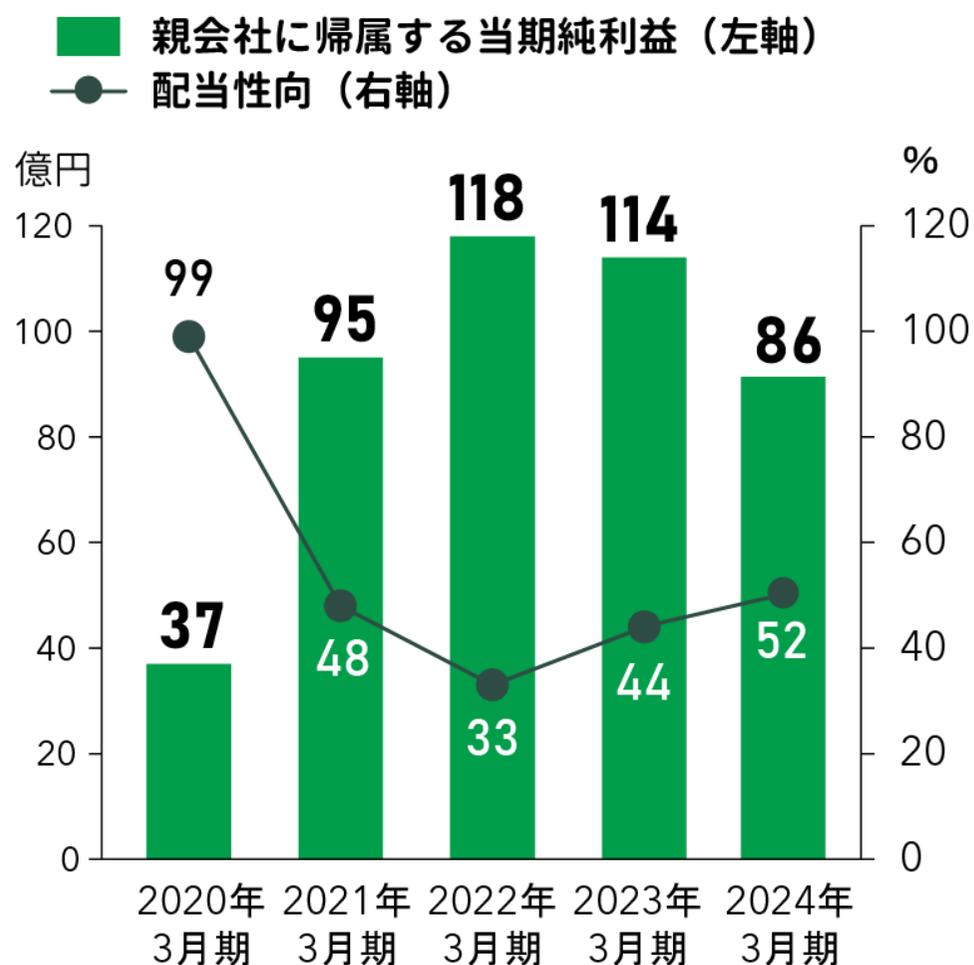
DOE：配当金 / 自己資本の期中平均

# 株主還元の様況

## 1株あたりの配当金\*の推移



## 当期純利益・配当性向の推移



\* 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算出しています。

# eスポーツ大会「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2024」協賛

太陽ホールディングスは、株式会社カプコンが主催する e スポーツ大会「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2024」へ、昨シーズンに引き続きトップパートナーとして協賛しています。本大会への協賛は、今シーズンが4年目となります。



## 大会

ストリートファイターリーグ: Pro-JP 2024 グランドファイナル

ストリートファイターリーグ: ワールドチャンピオンシップ 2024

## 開催日程

2025年2月11日

2025年3月9日

「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2024」公式 Web サイト <https://sf.esports.capcom.com/sf/>

# 永原悠路選手との所属契約を更新

太陽ホールディングスは、スケートボード・男子パークの永原悠路選手との契約を2025年12月31日まで更新しました。世界一へ挑戦する永原選手を、引き続きサポートしていきます。

## 永原悠路選手のプロフィール

【生年月日】 2005年6月10日

【出身地】 長野県白馬村

【世界ランキング】 16位（2024年12月時点）

【主な戦績】

	参加大会	戦績
2023	スケートボード日本OPEN	優勝 (大会2連覇)
	アジア競技大会 (中国)	銀メダル
	World Championships (ローマ)	7位 (自身初の決勝進出)
2024	WST Dubai Park 2024 (UAE)	10位
	X Games Ventura 2024 (アメリカ)	12位
	パリオリンピック (フランス)	15位
	Rockstar Energy Open (アメリカ)	優勝
	X Games Chiba 2024	8位



# 当社のサステナビリティ

# サステナビリティ経営

経営資本を長期的に維持し、価値創造に努め「楽しい社会」を実現することが当社のサステナビリティ経営であり、長期経営構想の基本方針として定めています。

## 経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

## 長期経営構想

経営資本



事業活動



OUTCOME



楽しい社会を実現し想像を超える未来へ

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



エレクトロニクス事業

医療・医薬品事業

ICT&S 事業

OUTPUT

経営目標(2030年)

ROE 18% 以上  
DOE 5% 以上維持

- エレクトロニクス技術の革新
- 先進・高品質医薬品の供給
- DX・スマートファクトリーの推進
- 脱炭素社会への貢献
- 再生可能エネルギーの普及
- 環境負荷の小さい食糧生産
- 地域社会との共同発展

# サステナビリティの基本方針

当社のサステナビリティの基本方針は、長期経営構想において「SDGs への取り組み強化」を掲げ、重要な経営課題として位置付けており、人的資本への投資については、基本方針の筆頭に「自律型人材の育成・活用」を掲げています。

## 長期経営構想

### 基本方針

- 1 多様化する組織や社会に対する自律型人材の育成・活用
- 2 デジタルトランスフォーメーションによる進化と変革
- 3 エレクトロニクス事業の継続した成長と新規事業領域の創造
- 4 医療・医薬品事業の更なる成長
- 5 新たな事業の創出
- 6 戦略的 M & A
- 7 SDGs への取り組み強化

人的資本  
への投資

サステナビリティの  
考え方・取り組み

# 太陽バリューの策定

ビジネス拡大に伴う従業員数増加によって生じる年齢や事業間のギャップを埋めるため、人事部と社長が中心になり 2022 年に太陽バリューを制定しました。

## 太陽バリュー

私たちは、一人ひとりが自律した人材として「経営理念」を実現するために、以下の4つを大切にします。

[ 楽しむ ] 未来を描き、自ら動く。

“これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。”

[ 誠実 ] 素直に向き合う。将来に誇れる判断をする。

[ スピード ] まず動く。先駆ける。

[ コミュニケーション ] 相手の想いを聴く。意思を言葉にして伝える。

# 当社の人的資本への投資

## —自律型人材の育成・活用—

# 自律型人材の育成・活用

当社では「仕事のやりがい」「公正な評価・給与」「職場環境」の3つをバランス良く整えることで、自律型人材の育成に努めており、そのような人材と組織風土は模倣困難性が高く、大きな差別化要因になると考えています。

機会提供により従業員の挑戦をサポート



地域社会を含めた外部からの評価も重視



創造性を高め挑戦を加速させる環境の整備



# 重点的な取り組み事例のご紹介(1/2)

当社では、従業員一人ひとりの自律を促し、多様な人材がそれぞれの特性や能力を最大限活かせるよう、職場環境や社内の教育体系の整備などに取り組んでいます。

職場環境整備

人材・組織開発

新卒採用の強化

中途採用の強化

セミナー・研修制度  
の強化と継続

評価・給与制度  
の見直し

性別を問わない  
機会提供

非日常体験を通じた  
学びの機会の提供

健康経営の促進

男女育休取得  
の促進

継続的な学び  
への支援

# 重点的な取り組み事例のご紹介(2/2)

今後も取り組みを継続することで、自ら目標を立て、目標の実現に向け高い志を持つ自律型人材が集まる組織・風土づくりを進めてまいります。

職場環境整備

人材・組織開発

新卒採用女性比率

53.3% 

中途採用者比率

49.7% 

セミナー・研修費用

年間31万円/人 

給与諸制度改定

数%~40% up 

管理職女性比率

21.4% 

レクリエーション補助費用

年間2万円/人 

健康維持促進手当

年間3.6万円/人 

男性育休取得率

80% 

図書費補助費用

年間24万円/人 

# 給与水準の引き上げを実施

2023年4月から年間給与を見直し、数%～約40%アップしました。

## 年間平均給与\*

2023年4月より



\*22年3月期有価証券報告書の掲載基準に基づき、基準外給与、賞与、株式付与 ESOP 信託による株式付与分、確定給付企業年金の年間積立額及び確定拠出年金の掛金を含みます。

総合職30代前半月給

45 万円

学士卒初任給

31 万円

修士卒初任給

33.5 万円

博士卒初任給

36.5 万円

従業員ESOP

年1回

通勤手当  
超過勤務手当  
持株会 など

# 女性活躍推進

当社では、仕事と家庭生活の両立を支援し、女性従業員が働き続けられる環境づくりに努めています。

## 取り組み事例



- 育児休業制度
- 短時間勤務
- 社内託児所
- 看護・介護休暇
- フレックスタイム制の導入
- リフレッシュ休暇制度
- リーダー層の育成 など

役員女性比率

42.9%

執行役員女性比率

12.5%

管理職女性比率

21.4%

リーダー層女性比率

42.4%

新卒採用者女性比率

53.3%

中途採用者女性比率

20.3%

# 女性役員比率

プライム市場上場企業の「取締役、監査役、執行役」の女性割合は 13.4% である中、当社は 42.9% と高い水準を維持しています。



プライム市場における  
女性役員 (2023 年)

役員数	21,306
女性役員数	2,847 (13.4%)
社内役員数	369
社外役員数	2,478

<https://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/yakuin.html>



# 職場環境の整備

## オフィス・ラボ



## 社員食堂



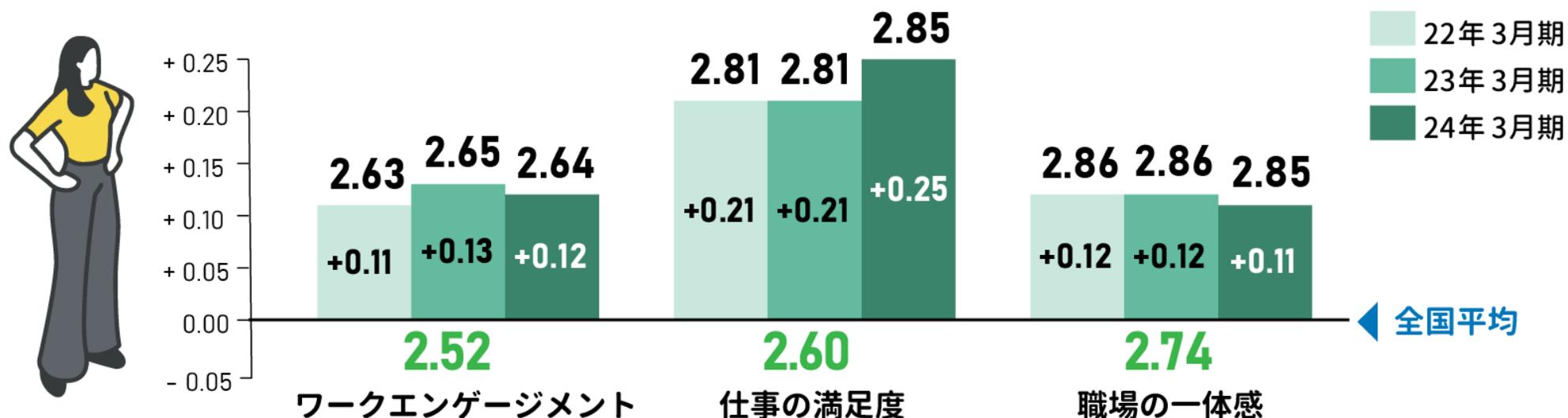
## 地域貢献



# 社員満足度の指標

当社では全従業員を対象に実施している外部機関ストレスチェックにおいて、法定の要素だけではなく従業員の満足度等も総合的な指標として広く参考にしており、全国平均と比較して高い結果が得られています。

## ストレスチェック 当社と全国平均との差異



### 結果

個別項目全36のうち、32項目が全国平均を上回る



### 課題

全国平均を下回る4項目の中で、会社側で対策可能な項目の改善



### 取組

課長以上の全役職者とのディスカッションの機会を設け、各職場に最適な改善策を検討



# 社外からの評価

外部から高い評価を獲得しています。

## MSCI<sup>\*1</sup> 日本株女性活躍指数 (WIN)

2024年6月 構成銘柄に7回連続選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

## えるぼし認定 最高位

太陽ファルマテックが  
女性活躍推進法に基づく認定  
「えるぼし」の最高位「3」取得



## CDP 2023 気候変動質問書

2024年2月 Bスコアを取得



## 健康経営優良法人 2024

太陽ファルマテックが  
2024年3月 健康経営優良法人  
に選定(3年連続)



## 日本経済新聞「プラチナ企業 TOP100」<sup>\*2</sup> に選出

日本経済新聞社が実施した調査において「働きやすさ」と「働きがい」が高い企業「プラチナ企業」として、上位100社にランクインしました(上場企業約2,300社中53位)。

<sup>\*1</sup> 太陽 HD の MSCI インデックスへの採用及び MSCI のロゴ、商標、インデックス名称の使用に際し、MSCI やその関係会社による太陽 HD への資金提供や保証、販売促進を行うものではありません。MSCI インデックスの排他的独占所有権は MSCI にあります。MSCI、MSCI インデックスの名称及びロゴは MSCI 又はその関係会社の商標です。

<sup>\*2</sup> 出典：日本経済新聞(2024年5月7日掲載)「プラチナ企業 TOP100 御社やライバルはランクイン？」

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC1199M0R10C24A4000000/>

# 統合報告書 2024 掲載のご案内

- 当社コーポレートサイトに統合報告書 2024 を掲載しました。
- 当社グループの価値創造に向けた事業活動や特徴的な取り組みについてご紹介しています。

## INDEX



### CHAPTER 2

#### 価値創出とサステナビリティ

- 19 長期経営構想「Beyond Imagination 2030」
- 21 基本方針01 多様化する組織や社会に対応する自律型人材の育成・活用
- 25 基本方針02 エレクトロニクス事業の継続した成長と新規事業領域の創造
- 29 エレクトロニクス事業 特集「InnoValley」
- 33 基本方針03 医療・医薬品事業の更なる成長
- 37 基本方針04 デジタルトランスフォーメーションによる進化と変革
- 基本方針05 新たな事業の創出
- 基本方針06 戦略的なM&A
- 39 基本方針07 SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み強化

### CHAPTER 3

#### コーポレート・ガバナンスと財務情報

- 45 コーポレート・ガバナンス
- 55 6ヶ年主要財務・非財務データ
- 57 IR活動・企業情報

### CHAPTER 1

#### 太陽グループの紡ぐストーリー

- 5 価値創造のあゆみ
- 7 数字でわかる太陽グループ
- 9 太陽グループの事業
- 11 価値創造モデル
- 13 クロストーク

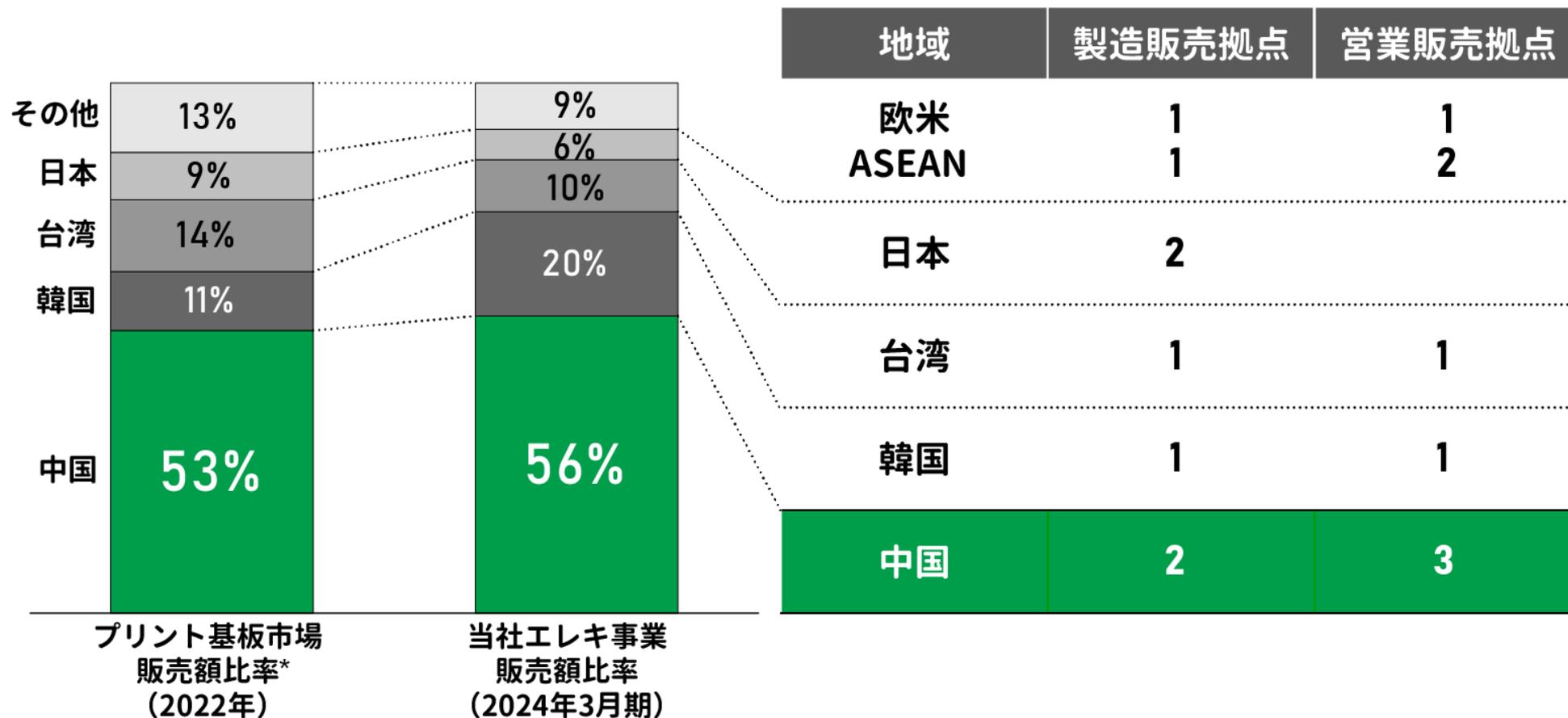
ガバナンス		リスク管理	
<p><b>推進体制</b></p> <p>サステナビリティ全般の業務執行については、代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会が担っています。サステナビリティ推進委員会は、取締役兼や人的資本などサステナビリティに関する活動の方向性や、重要課題に基づき設定した目標に関する進捗などを全社グループ横断的に議論しています。重要事項については、取締役会の議案を受け継ぎます。</p>	<p><b>取締役会</b></p> <p>取締役会 議決 ↑ 報告</p> <p>サステナビリティ推進委員会 委員長：代表取締役社長</p> <p>議決 ↑ 報告</p> <p>実行部門</p>	<p>当社グループは、事業に関連する短期、中期、長期のリスク及び機会に対応するため、年に複数回、事業ごとのリスク及び機会の発生を行っています。特に重大な影響を及ぼす可能性のあるサステナビリティ関連事項については、社内のリスク管理を定めるため、評価・識別したリスクを実行部門で対応し、サステナビリティ推進委員会及び取締役会にて対応を管理・モニタリングする一連の体制を構築しています。</p>	

[https://www.taiyo-hd.co.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/20241031\\_02.pdf](https://www.taiyo-hd.co.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/20241031_02.pdf)

# 事前にご登録いただいた ご質問とその回答

# Q1. 今後のカントリーリスクへの対策は？

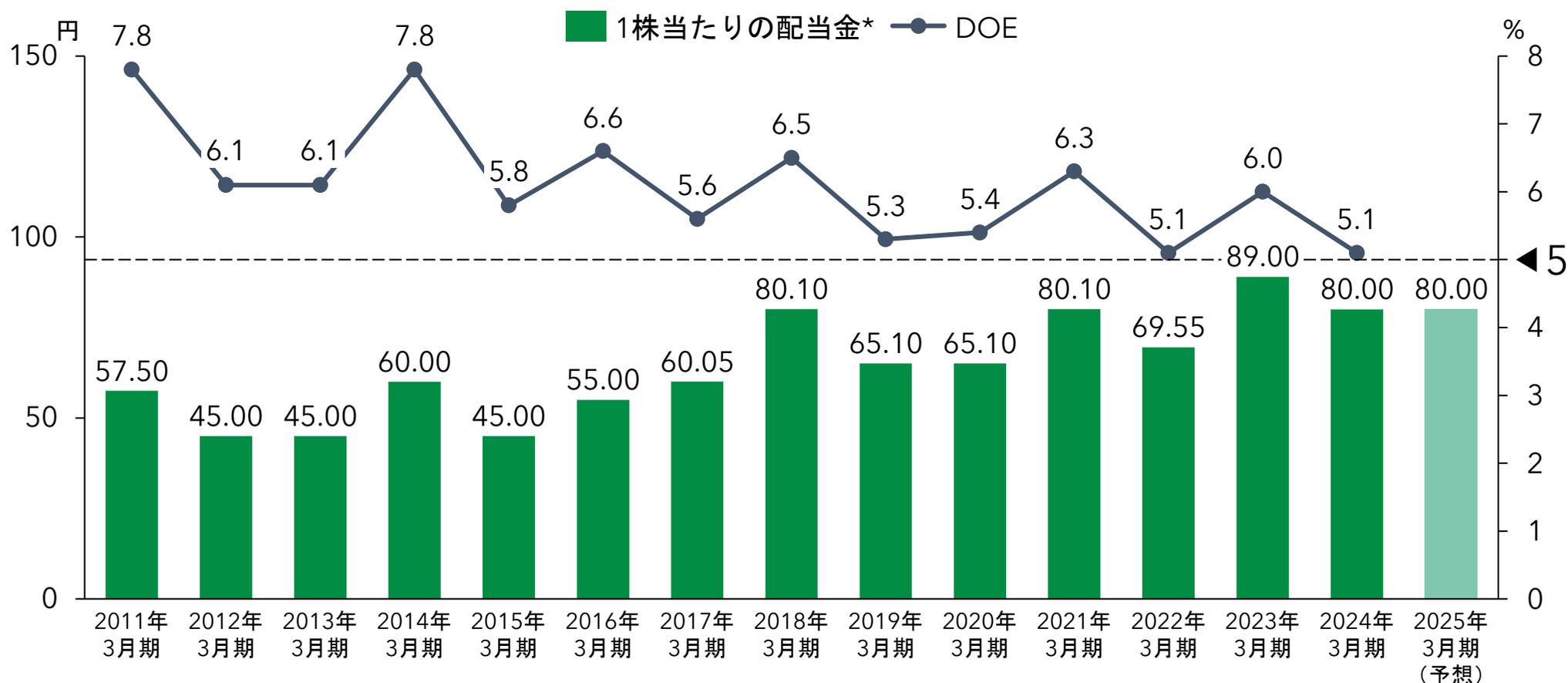
当社エレキ事業の地域別販売額比率はプリント基板市場との相関から、欧米での販売比率は1割以下である一方で、中国での販売比率は半分以上を占めています。当社は各国の情勢に左右されずに製品を安定供給できるよう、地産地販の観点を取り入れていると共に、今後も情勢を考慮しながら適切な製造・販売戦略を構築してまいります。



\*調査会社提供データ

# Q2. 今後の株主還元策は？

- 当社は長期経営構想「Beyond Imagination 2030」の目標として株主資本配当率（DOE）5%以上維持を掲げており、株主の皆様には十分な利益を還元いたします。
- 増加配当は、DOE5%以上を維持できるように当期株主資本を加味し判断させていただきます。



\* 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2011年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算出しています。

